伯剌西爾時報
發行所 伯剌西爾時報社 電話 七-四六七〇
作綱石島 M Sameshima 長 Director
購讀料 一ケ年 六十錢 半ケ年 三十錢
廣告は御目に留まる會社御注文御申込御歓迎
珈琲 サントス四級 ナチュラル 十キロ 一二、〇〇〇
爲替 對日 四、六六五 對米 五、八六〇 對英 一九、七七〇 八〇、〇五〇

近衛新内閣 專任閣僚顔觸れ略々決定

【東京廿日同盟】近衛新内閣の專任閣僚並に内閣三長官の顔觸れは左の如くである

内閣總理大臣 公爵 近衛文麿
外務大臣 松岡洋右（決定）
内務大臣 安井英二（有力）
大藏大臣 星野直樹（有力）
陸軍大臣 東條英機（決定）
海軍大臣 吉田善吾（留任）
司法大臣 岩村通世（有力）
文部大臣 柳川平助（有力）
農林大臣 石黑忠篤（有力）
商工大臣 岸信介（有力）
内閣書記官長 富田健治（有力）
法政局長官 太田正孝（有力）
企畫院總裁 星野直樹

元文相 滿洲國總務長官
陸軍中將
海軍中將
檢事總長
陸軍中將
元農林次官
商工次官
長野縣知事
衆議員議員
藏相兼任說有力

日本は其傳統に復歸

伊のガイダ紙近衛内閣を禮讃

【羅馬十九日同盟】ジョルナーレ・デ・イタリア紙は十九日ガイダ主筆の「强力な政府」と題する社說を掲載、近衛首相、松岡外相、東條陸相の經歷を紹介し、次いで過去四十年間における英米民主々義國の日本の公共生活に及ぼせる影響を檢討した後、左の如く論じてゐる

日本は今やその嚴厳なる國家的傳統に復歸せんとしてゐる、イタリア國民は友邦日本の新政府と、その今後の政策に黙して心からなる敬意と共感を抱いてゐる

四相參集 内閣基本方針協議

近衛公の提案全部應諾

【東京廿日同盟】近衛新内閣の基本方針を決定する防、外交の基本方針に關する重要國策は十九日午後三時より荻窪の近衛公邸において開催され、近衛公、東條、吉田兩中將、松岡洋右の四氏參集

一、支那事變處理方針
一、統帥と政治との調整

等の基本的外交方針並びに戰爭終結一般の問題に關し近衛公よりその各項目に亘り私案を提示して詳細にこれを說明、三氏よりこれに對して質問、並びに意見を開陳、協議の結果、その根本について完全に意見の一致を見、その内容については組閣後閣議に計つて正式決定の上、新内閣施政の基本方針としてこれを中外に發表することゝし、翌廿一日午後三時閣議に引續き閣議を終つて午後六時三十五分終了した

重光大使 英外務次官訪問

【倫敦十九日同盟】ビルマ香港ルート閉鎖を巡る英國の新極東政策は、十八日の兩院を通過したが、重光大使は十九日午後五時から外務省にネアトラ次官を訪問し、日英關係諸問題に關する重要會談を遂げた

岸商工次官 近衛公邸へ赴く

【東京廿日同盟】岸商工次官は廿日午後一時半近衛公の招致に依り荻窪の近衛公邸へ赴いた、同氏は商工大臣として入閣の交渉を受けるものと見られる

極東でも英は敗退 時やよしと國會を召集

絶好の機會掴んだヒットラー

【伯林十九日同盟】ヒットラー總統は愈て世界情勢、殊に極東情勢を見極めた上、對英軍事意思表示を行ふ事となつてゐたが、十九日ヒットラー總統側近者より聞けるに、總統は、近衛公に大命の降下した十七日、國會召集の決意を固めるに至つたと傳はれる これは極東情勢も英國に不利と見られたものであつて、注目されてゐる

米もまた 在支特殊權益撤廢の下心

ウエールズ國務次官、記者團に語る

【華府十九日同盟】ハル國務長官が汎米會議に出席の爲の、ハバナに赴いた不在中、十九日記者團との會見でウエールズ次官は國務長官代理として米國の在支治外法權その他特殊權利の撤廢に關し、適當の時期に支那政府と交渉を開始する用意ある旨を聲明したが、右聲明は十八日のチャーチル英首相の議會演說、關聯してなされたものので、チャーチル首相の演說中、支那の治外法權撤廢に關する部分のみを取りあげ、その他のビルマ航路閉鎖問題、日支和平調停問題などには全然觸れてない事は特に注目される、ウエールズ長官代理の聲明内容は左の通りである

米國政府は適當の時機が來れば、英國政府と共に支那の治外法權撤廢につき、支那政府と商議を行ふ用意を有するものである、米國政府の在支治外法權問題に關する見解は一九三八年十二月廿一日、日本政府に宛てた覺書中に述べた通りである、又各種特權撤廢を目指した支那政府との交渉は、一九三二年開始した滿洲事變の爲め中絶となつてゐたが、米國政府は支那の廣大な地域に亘つて行政組織を崩壞せしめる結果となつた日支の紛爭が開始された一九三七年當時の此の問題に對し、茲に再び友邦的な考慮を加へんとするものである、狀況が安寧であると認めた時には國際的諒解の下に米國並に列國の在支治外法權その他の、所謂特殊權益を撤廢する爲め、正當なる手續に依つて支那政府と商議を行ひたいと云ふ

伊藤文吉男 近衛公を訪問

東京廿日同盟）伊藤文吉男は二十日午前十時十分近衛公の招きに依り荻窪の近衛公邸へ入り、福々會議午餐を共にした後、午後一時二十五分辭去した

閣僚人選愼重、極む

内務大臣は特に嚴選

（東京廿日同盟）近衛公は十九日の重要國策會議に於て新内閣の基本方針を決定したので、二十日より廳々組閣の第二段工作に入り、新政治體制と睨み合せて所謂大物主義によらず近衛公の抱懷する政治方針を具體化すると云ふ點に重點を置いて行政的に識見能力の人物を目標に閣僚銓衡に着手したが、各方面の情勢を愼重に打診し、且閣内の人的調和の觀點より極速主義によらず、極めて堅實なる方針の下に人選を進めて居り、殊に内務大臣については新體制運動の發展に取つて重大な役割を果すので、特に愼重な考慮が加へられてゐる、從つて二十日中に組閣上奏の完了を見るや否やは目下の所見通しがつかない狀態にある

四相會議終了後

近衛公記者團に談話發表

【東京二十日】近衛公は東條、吉田、松岡の三氏を私邸に招き午後三時より外交、國防を中心とする諸方策について腹蔵なき意見の交換を行ひ四者完全に意見の一致を見たので同六時半會議を終了した、近衛公は會議散會後、新聞記者團に對し次の樣な談話を發表した

會議の内容を申上る事は出來ない、今日の會議は私からの案を示し腹藏のない意見の交換をしたもので、總論を云へば外交國防方針の根本について意見の一致を見た譯です

會議内容について傳へられる所に依ると

一、日支國交調整
一、日支事變處理
一、東亞新秩序建設
十、東亞經濟の確立
一、日獨伊軸の强化
一、英米關係

など國防外交に關する重要方針について協議されたものと見られる

チアノ外相 十九日伯林へ到着

【伯林十九日同盟】獨逸政府は、十九日午後DNB通信社を通じ、チアノ伊太利外相は十九日午後三時伯林に到着したと發表した、外相今回の訪獨目的はおそらく英攻撃開始に先立ちての獨伊兩國の最終的重要打合せを行ふ爲と見られる向はチアノ外相は十九日獨逸された國會に出席した

星野長官入京

【東京十九日同盟】星野滿洲國總務長官は二十日午前七時東京驛着入京、本郷區湯町の入國野武夫氏邸に入つた、入京早々鮎川義之介氏の來訪を受け、同氏より十九日の近衛公との會談内容を聽取し要談を遂げた

ヒットラーの演說 米政府失望の色

【紐育十九日同盟】ニューヨーク・タイムス華府電によれば、ヒットラー總統の對英和平勸告演說に對し、米國政府當局では公式批評を避けてゐるが、非公式にヒットラー總統は今度の演說において、英國が好意を以て歓迎し得るやうな實質的な和平條件を提案するものと期待してゐたが期待外れに了つたと失望の意を表明した

青木一雄氏歸京

東京廿日同盟）阿部大使歸滿顧問青木一雄氏は廿日午後五時四十分、羽田飛行場着、歸京した

英、和平提唱を一蹴

獨抗戰決意更に新たなり

【紐育十九日同盟】ヒットラー總統の和平勸告演說に對し、英國朝野は斯る獨逸の戰術には斷じて乘らずと抗戰の決意を新にしてゐる旨、AP、UP兩通信社倫敦電は十九日次の如き報道を寄せてゐる

AP ロンドン電

英國民は六月四日チャーチル首相の聲明を絶對に支持し、例へ對獨交戰が長期に亘るとも、和平に應ずる意思は無い

英國民はフランスの降服以來獨逸の和平提唱をよく知つてゐたが獨逸への應答は佛艦啖拿捕に依り表明されてゐる

UP ロンドン電は

英國は獨逸の和平提唱を絶對に受けつけない

ヒットラー總統は英國民の對獨抗戰の繼續決意を搖がさんとの意圖を有し、同時に獨國民に戰爭繼續の責は英國にある事を明かにせんとしたが、英國民の對獨抗戰の斷乎たる決意はゆるぐべくも無い

ルーズベルト氏 第三期出馬を決意

副大統領候補ウオーレス氏最有力

民主黨指名

【華府十八日同盟】十七日の民主黨全國大會で大統領候補に指名されたルーズベルト大統領は、米國政治の固き傳統を破つて第三期出馬を決意、十八日パーンズ上院議員に電報で同大會の候補指名決定を應諾の旨通達した

【シカゴ十八日同盟】ルーズベルト大統領第三期指名に引き續き民主黨大會は、十八日午後二時より廳々副大統領候補の指名議事に入ることになつたが、副大統領候補としては、ウオーレス農務長官が最も有力視され、その他ジョーンズ聯邦融資局長官、ダグラス大審院判事ハル國務長官等が下馬評に上つてゐる

負けるに決つた 無益抗戰を止めろ！

ヒ總統緊急國會に於て對英最後の和平勸告演說行ふ

Paz ou destruição total

和平か壞滅か
奥・存亡の岐路

【伯林十九日同盟】ヒットラー總統はチアノ伊太利外相を同道午後七時ク

ロールオペラに召集された緊急國會に臨み、ゲーリング議長の開會の辭に次いで七時五十分登壇約一時間十五分に亘つて力說し重大演說を行つた、其の内容は英國の抗戰の無益を戒しめ、實質的な降服を要求せる對英最後の和平提唱と目さるべきものである、演說の要旨左の通り

一、獨逸の外交根本政策はイタリー、英國との協力にある、獨逸は歓度に亘り犠牲を拂つて和平を得んとしたが英國は遂に應じなかつた

一、今や獨逸は武力食糧、原料の何れに於ても欠くる所なく國内の人心は旺盛であり、獨ソ關係も不變である

一、英國が非戰鬪員に對する攻撃をやめなければ獨逸は直にこれに報復すべく、戰爭終了後は英帝國は潰滅しよう

一、獨逸今日の目的は戰爭を行はんとするにあらず、文化の再建を行はんとするにあり、英帝國を打倒せんとするものではない、予は現在勝利者として再度英國の理性に訴へるものである

予は昨年十月九日の議會演說に於て、平和以外に何等希望のない事を明らかにした、然しながら英國は之に應ぜずロンドンの政治家連はカナダに逃れても、飽迄抗戰を續けると謂つてゐる、然し彼等は一種戰爭の何物なるかを知つてゐるのであらうか、チャーチル首相は無辜の非戰鬪員に對し、戰爭をしかけてゐるが英國が斯る態度を續けるならば必ずや近く徹底的報復を受けるべく、予は戰爭終了後は一帝國が滅亡すると確信する、然し、大帝國を打倒し、或は之を傷つけんとするのは予の本心ではない。予は英國に對し戰爭を强要する意思はない、予は現在勝利者としてもう一度英國及びその他の國の理性と常識に對し最後の提唱をする、然し之は敗者としての立場では斷じてない 予は戰爭を之以上遂行する理由を發見し得ないのである チャーチル首相は之を目して予が何等か脅威を感じ最後の勝利に疑惑をもつた結果と謂ふかも知れないが、予は今後再び斯る提唱を行ふ考へはない

英を馬鹿にした演說

ヒ總統演說、英政界筋の意見

【倫敦十九日同盟】ヒットラー總統の對英和平勸告演說につき、ロイター通信は外交記者は英政界筋の意見を次の樣に報じてゐる

ヒットラー總統の演說はチャーチル首相に加へた勝手放題な侮辱とダフ・クーパー情報相、イーデン陸相に關する部分が僅に聞きこたへがあるだけで、その他すべて何の効果も無い空疎なものであり、英國政府がこれに公式に答へるだけの價値は無い、チャーチル首相は近く議會で何等かその見解を表明するであらう

あばれ大名

（映畫化）

久我莊多郎 作
高橋秀雄 畫

（百五十五）

旅路の卷

鳴の足

三ノ三

「あッ！」

やつてはならぬ——と、氣が付いて、浩齋老人、枯れた聲をたぎらせ、そのあとを追はうとすると

「どつこい！」

高梨充太郎、横溝平馬ら、多りの人數が、浩齋の眼へ立ちふがつた

「退けッ！」

「馬鹿めッ！」

サッと白く、銀蛇が閃つた

「う——」

辛くも、それを避けるゝ、つゞいて

「えいッ！」

「やあッ」

ギラ〳〵した大刀が、前後左右から、浩齋の痩せた身邊をおびやかすのだが、何がさて、氣丈者の浩齋である。今でこそ、見るかげもないまでに老い朽てゐるけれど、「どくろ船」の舵に立ち、赤裸で全軍を指揮した昔がある。無得に、地獄の鬼となる暇がない

はッ——

身を沈めた浩齋は、手元へのめつた瀧士の大刀を、目にもとまらぬ隙にもぎ取つて、

「來いッ！」

キッと背眼に構へる

「生なッ！」

と喚き立てるのは、いつもながら、暴勇をあらはに示す横溝平馬

「やれ。相手は老齢ひとりだ。何程のことがある」

「たゞし……」

充太郎が、あとをすくつた

「殺してはいけない。生捕にするのだ！」

「おゝッ！」

應へた瀧士——の太刀の數が、まるで鼠の齒のやうに、浩齋、周りを取卷いた

時に——

どこから姿を見せたのか、勿論としてこの爭鬪を、栃の木の下に立つて眺める影があつた。荒ら目の編笠に薄羽織がまだ乾かつかずにゐる横溝平馬や高梨充太郎たち。ひとりの浩齋を取卷いて、ジリ〳〵と詰め寄つて行くのだ

「相手はひとりだ」

「しかも老齢——」

「何程のことがあらうか。かれ、引つからめよ」

と、口々に叱咤するやうなのは、平馬と充太郎である。で、蹴上げられるやうに瀧士たち

「おゝ！」

「えいッ！」

と、縺れ合ふ聲の亂れ打ちを響かせる

人と人、劍と劍が渦を卷く

しかし、討ち手にとつては意外！ と思へる老人の手練であつた。この、肉が薄く、微だらけに枯れた浩齋の五體のどこに、これまでの血氣があり、鬪力がひそんでゐるものかと、目を瞠らすにゐられないほどの、老人の馳業である。すでに、二人は斬られた……。と見る間に、また瀧士たち——バサッ——と、瀧士手負をはたくやうな叫の音

だが、瀧士たちは怯みはしない。そればかりか、僚友の血潮を見せつけられて、一同の鬼心はあふられるものかいよ〳〵鋭く、浩齋の身邊、魔刀のそよぎを詰めよせる

さうなると、さすがに瀧士はあらそへなかつた。時刻が經つにつれ老人の四肢の疲れは倍加してゆく。吐く呼吸も荒らくなる

「今だッ！」

「それッ！」

かくて、浩齋、身に數箇所の傷傷を負ひ、そこから、血が吹き出した

もう、時間の問題である。百五十三、四の順序轉倒につゞ御〳〵承諾度〳〵

神速の封鎖作戰
南支艦隊の偉勳燦！
廿日東京より祝電發せらる

（東京二十日同盟）海軍では、今次封鎖作戰の神速なる戰果に鑑み、二十日軍令部次長、海軍次官連名を以て島田海軍司令長官、鄭須南支派遣艦隊司令長官に對し左の如き祝電を發した由、大本營海軍報道部から公表された

「漸進的に敵の海運を封鎖し、これを攻略すると共に福建沿岸の諸要港を奪取し封鎖作戰上多大の戰果を擧げられたるを慶賀す」

陸鷲
善覇を爆擊

（〇〇電）地廿日同盟）陸鷲第代部隊は廿日午前佛領仏領の

福建省の敵四十萬
完全に糧道絶たる
南支艦隊封鎖作戰
効果大！南支艦隊

が、今次作戰の福建省の敵擊滅に與へた深刻な影響は蔽ひ難いものがあり、玉山を中心とする總司令部の電報に接する敵軍は兵站全線の崩壊近く、此の儘

物情騒然たり

十九日午後四時半共同租界西南部の治路七十二號キャリングの三階で喫茶中、突然暴漢二名が侵入し、張に向つて拳銃を發射し五彈を受けその場に絶命した。張は最近南京國民政府の發表「擧げられてゐる、傷犯人は逃し、第七次逮捕令中にも名を早く逃走した

問題の
上海イヴニング紙社長
暴漢の狙撃に斃る
反日分子の末路哀れなり

（上海廿日同盟）華字紙大業晚報並びに英文上海イヴニングポスト社長張仲炳は十九日午後四時半共同租界西南部治路七十二號キャリングの三階で喫茶中、突然暴漢二名が侵入し、張に向つて拳銃を發射し五彈を受けその場に絶命した。張は最近南京國民政府の發表「擧げられてゐる、傷犯人は逃し、第七次逮捕令中にも名を早く逃走した

船の無い港

（〇〇電）上にて十九日同盟）泉洲興化灣に進出に頁り、敵大軍輸を信して戰行中の我南支艦隊は行動開始第に依つて福建省沿岸の各敵砲力内陸上輸送基地はさながら船のない港と化し、徒らに拱手迷夢の醒めを待つに過ぎない

緊迫！歐洲情勢に
電信界多忙を極む
新に東京—伯林、大阪—倫敦回線を增設

（東京廿日同盟）歐洲情勢の進展と共に我國と世界主要國との間の電報は著しく增加し特にドイツとの間の電報は最も甚だしいので、遞信省では、これが輸送を緩和し、併せて重要通信の迅速を計るため、現在の大阪伯林間電線電信連絡の他、更に東京伯林間に臨時的に直通無線電信連絡を設けることゝし、目下ドイツ遞信省と交渉中のところ、この程協議纏まり諸般の準備も備つたので、來る廿日から東京中央電信局と伯林電信局間に

電波は乱れ飛ぶ

（東京廿日同盟）歐洲情勢の進展と共に我國と世界主要國との間の電報は著しく增加し

ソ聯は嚴正中立
駐ソ英大使にスターリン言明

倫敦十八日同盟）モスクワ駐在英大使スタンフォード・クリプス氏は昨日スターリンと會見したがスターリンは獨逸の歐洲支配に對するソ聯としての提案は未だ何等の協定も出來て居ない、又ソ聯は現在に於ても嚴正中立の態度であると聲明した

新伊太利大使
親任狀を捧呈

（東京二十日同盟）新任イタリー特命全權大使マリオ・ガンシ氏は、二十日午前十時參内、御座の間に於て、天皇陛下に謁見御親任狀を捧呈し、天皇陛下は大使館員九名にも謁見を賜はせつけられた

日滿合辦通信社
設立議定書調印
新京で梅津、張兩氏間に

（東京十九日同盟）去る十三日の國際電信電話株式會社の滿洲における日滿合辦通信會社設立協定の修正に關する議定書は、十九日新京に於て梅津駐滿大使と張滿洲國外務總理との間に調印された、右に關し外務省情報部では十九日午後六時左の如く發表した

十九日午後二時、新京に於て梅津大使、張國務總理間に滿洲國における日滿合辦通信會社の設立に關する協定が調印され、即日實施される運びとなつた、本議定書は昭和八年二月廿六日、調印の滿洲に於ける日滿合辦通信會社の設立に關する協定に修正を加へ右會社がその拂ひ込みたる株金額の二倍を限る社債の發行することを得る旨の規定を追加したものであつて、その結果、滿洲電信電話株式會社は、下內外の諸情勢、諸に交通產業上の諸要請に應じ、その事業の擴充、整備につき又必要なる資金調達につき遺憾なきを期し得ることゝなつたのである

伊太利巡洋艦
バルトロメオ號沈む

（倫敦廿日同盟）英國海軍當局の公表によれば、昨日地中海に於てオーストラリヤ巡洋艦シドニー號は、伊國巡洋艦バルトロメオ號を撃沈せり

伯林
獨空軍の活動急！
英本土を席捲す

（伯林十九日同盟）テオク軍司令部發表

一、獨戰闘機部隊は引續き英國ブリンダンの諸飛行場、船渠、兵舎を空襲した、又スコットランド北部海岸沖合及び英佛海峽に於て敵船船を攻撃し、爆沈、外船船十二隻及び小船舶二隻に對し撃多大の損傷を與へた

一、十八日の敵空軍の損失は軍用機十二機に對し獨機二機は行方不明となつた

英國兵千六百名
ジブラルタルへ上陸

（マドリッド十九日同盟）十九日マドリッドに達した情報に依れば、イギリス兵を滿載した英國輸送船三隻が十九日突如ジブラルタル軍港に入港し、武裝のイギリス兵千六百名がジブラルタルに上陸、更に續々には千七百名が續つてゐると謂はれる

上海
爲替

上海二十日　爲替は昨日英三片六十四の五英米六四三十二の五と引けた、電報爲替

時報原稿用紙

十五字詰二十行、品質上等、體裁優美、最適の書き好い原稿用紙です
百マイ　二ドル　送料共
切手代用可

派遣軍將兵に告ぐ (3)
支那派遣軍總司令部發表

三、大御心を理解せよ

事變發生當時、御勅諭と本庄將軍の御下問、第七十二帝國議會開院式に際はつた御勅諭に於て「帝國と中華民國との根本協力に依り、東亞の安定を確保し、以て世界の實を擧ぐるは是れ朕が夙夜軫念措かざる所なり」、次に北滿の水害對策は田中華民國深く帝國の眞意を解せず蓋に事を構へ、遂に今次の事變を見るに至る、朕之を憂とす今や朕が軍人は百難を排して其の忠勇を效しつゝあり、是れ一に中華民國の反省を促し、速に東亞の平和を確立せしむるとすに外ならず と明示し給へるを拜誦し奉れば聖戰の眞義として恐懼に堪へない、次御である

「滿洲事變に際し帝國は直に内地に歸還した本庄將軍が天皇陛下に拜謁を賜はつた際、第一の御下問は、三千万の民衆は滿洲國の成立を喜んでゐるか」との意味の御言葉であつた、以て聖意の在る所を拜し奉り、次に北滿の水害對策は田中

ヤ」とは神武天皇御即位の大詔であり、道義を根本となし、正義に則り正道を勝み、四海同胞、萬邦協和の實を擧げることは我建國の大精神であり、東亞の再建とはこの大詔を奉體し、この建國精神を東亞に非直義的性格を有する世界政策の實現に外ならず、東洋への自覺において正しき

を養ふこと、即ち東洋道義の再建を根本とするものである、廣く貴賤、貧富、强弱を問はず、繼續ふ天皇陛下の大御心は、太陽の御光りの如くであらせられるから、內外に光被し久遠に儲照して窮まりなく、その光り正しきが故に強く、正しきが故に久しきを得る所以である

英國の支那、インド、アフリカ等に對して探りつゝある資本主義的侵略や、ソ聯の全國を階級闘爭による世界革命は他國または他民族を犠牲として自國民のみの繁榮を圖るものであつて、天地に憚ちざる大道ではない

從つて能　久しきに亘る事が出來ないであらう、現下世界を擧げて動亂の渦中に投ぜられつゝあるのはかくの如き非直義的性格を有する世界政策の實した當然の混亂である

英佛の國交關係
完全に斷絶さる
駐英、佛大使に引揚命令

（ビッシー十九日同盟）佛政府の對英外交關係斷絶通告以來從來親化した英佛關係は、今絶の經緯に就き左の如く發表した

英國政府は佛政府の對英國交斷絶通告に對し、南國間の外交關係回復を提案し來つた、仍て佛政府は右に對し英海軍の拿捕及び武裝解除された佛艦船、並びに軍艦の返還英國の攻撃により蒙れる佛側犠牲者に對する賠償其他の條件を履行せん事を要求した。然るに英國政府は全然回答せず、應諾する意志なき事が明瞭となつたので、佛政府は今回カステラーヌ大使に對し十九日倫敦引揚げ方を命じた

英の甲級巡洋艦
バービック號撃沈さる

（倫敦十八日同盟）英海軍當局の發表によれば、去る十日ノールウェー沿海に於いて英國甲級巡洋艦バービック號（一萬三千噸）は獨逸潜水艦の爆沈され、乗組員二名の水兵は救助され、補虜となつたと

肝臓の膽汁を活潑ならしめよ
食養生の要なく睡朝元氣に滿ちて起る法
肝臓が若し止まれば、膽汁が不良となり胃内に不親なガスが溜り便秘を伴ひ身體の衰弱を招き生命の憂みさへ唯肝臓通の手當では遠らず、これ用ひは即ち腸に魂り元氣は技的に恢復するPILULAS CANTEROの急かひらは、薬物あり

讀め「子供の園」！

本流家傳名灸
磯谷鍼灸本院
市マリアエイレイ郵便局
368 ルーマニア街

南米隨一として知られたる
廉價
淋病
新治療法ケタリング法を適用すれば如何なる淋病も極短期間に完全に治療致します
DR. HEITOR FENICIO
Av. São João 530 6º andar sala 2
Fone 4-1188 - São Paulo

歩合作者募集
ソロ線ノ・ブルデンテ驛より七キロ小柳
場所　熊太郎耕地、乘合自動車の便あり
土地　バタタ、棉作に好適
而積　十九域
設備　住宅、井戸、倉庫、バスト等完備せり
募集家族　三、四家族
契約條件は左記へ御照會相成り度し
ソロ線ブ・ブルデンテ市　郵函一二五
小柳仲買店

貸地
パリリ郡ポカ驛より二粁のサンジョゼー市地內
住宅、バスト、薪等附屬し健康地
御問合は同地宛
又はルア・バンデランテス二〇二番、ファースト氏へ

BAZAR S. JOSE'
Rua da Liberdade 72 Tel. 2-1539
小間物店
定價で勉强する繁店で御買下されば儉約が出來ます
○レース、リボン、靴下、シャボン、ボロン、エス、着物用ボタン、裁縫、帽子、刺繍、清花用品一切
御婦用と共秀新物の品でも來店を待つ
バザール サンジョゼー

Casa Allemã
FUNDADA EM 1865
月曜日　7月22日
恒例大賣出し
LIQUIDAÇÃO ANNUAL
殘余僅かの七月下旬の日から八月中旬に至る傳統のカーザ・アレマンの大賣出しが開始され弊店が有する殆ど總てのストツキを至廉を標望して提供する事になつて居ります。
カーザ・アレマンの顧客皆樣に斬新優秀の品々に恒例に依つて破格の新減價値段を附し實に絶好のお買物機會である事を御報告致します。
極小數乃減價出來難い品に對しても現金でお買求めに限り特に一割引
Schaedlich, Obert & Cia.　Rua Direita, 162-190

開墾に必要な
廣瀬式
アラード用草倒機
（トンバドール・デ・カロン）
特許請願中
一頭曳アラード用　三五針
二頭曳アラード用　四五針
アラードで耕耘する時に草が高いので開墾に非常に人數を要するものであります
此の草倒機は上圖の如くアラードに附ければ除草もフォイセも全然必要がありません
非常に輕便で經濟です
時報商事部
地方取次所　リンス、マリア・ブ・アルアンテ時報支社

社告
謹啓愈々御隆昌之段奉賀候　陳者當社外交員及支社員が常近各地方に巡回致し居る事は既に御承知の通りに有之候處最近當社は是等とは別に購讀者各位宛に直接に送付料金御拂込懇請狀を發送致し居り其の實或は出先社員と直接再請の場合無きにあらずと思料せられ恐縮に存居候次第に候へ共右は出先社員と本社間の通信連絡上　延者若しくは行違ひの結果に外ならずして之は決して故意に出でたるものには無之に付此儘車々も御諒察の上萬一上にも斯かる御合有之候節は何卒平素の御愛顧御回情を以て幾重にも御電報賜はり度奉懇願候先は右謹め御願迄
敬具
時報商事部
購讀者各位殿
伯剌西爾時報社

Cartonagem "Cysne"
MEDICI, BARBARO & CIA
Rua Carnot No. 341
Tel. 3-5719 S. Paulo
白烏印板紙細工
荷造袋用紙箱
ヒヨコ卵發送用紙箱、香水用紙箱等を製造販賣致します

美術石版印刷
鹽谷實
聖市ダパチンゲーラ街七八番
郵函二五七四
電話三—三九八〇

菌科古澤
ブタンタン大通り中間、コチア道の向側
エステヴチン・ロツパス街一七

和文の活版印刷
廉價叮嚀調達
サンジョゼー印刷所
Rua Tenente Simplicio, 20
荻原善五郎
電話三—五三三八番

募集
職人及び見習數名
チンツラーヤ ABC
聖市ベルゲイロ街式六八〇
加藤保一

むいとばん
寫眞館
館主　江口桂秀

鮮鯉金魚
分讓
江口養魚場
主任　松田保
リンス市
オラヴ・ヒラタキ街

帝都に集る世界の耳

そら來た紀元二千六百年の贈物

「この歡び傳へん」と張切る日本放送交響樂團

【東京廿日同盟】輝く我が紀元二千六百年を祝する祝典樂團からの贈り物ドイツが世界に誇る作曲家リヒアルト・シュトラウス翁（七十六才）の大交響樂「祝典序曲」が十九日朝彼の紀元二千六百年に寄す」とフランスの名作曲家ジャック・イベール（五十才）の交響樂「祝典序曲」が十九日朝彼の大交響樂「祝典序曲」「日本帝國」として祝典事務局に届いた。シュトラウス翁の祝典曲は寫眞の獨寫版で二部、一部は獻上品で黒白色の美しい紙の裝幀版には翁の自筆で「いと深き敬ひの心を以つて大日本天皇陛下に捧げ奉る」リヒアルト・シュトラウス」とインクの色もふさやかに記してあり、又この曲に添へた紙には「日本が萬世一系の天皇陛下を戴き二千六百年を迎へたことを祝ひ、その古い歴史の國に自分の作品を捧げる事に限りない名譽と感激を覺へる」と述べ、この曲を天皇陛下に献上申上げたいと存じます、私はこの曲が貴樣の御眼に止まり、兩國間の友誼を深めるに役立つこゝを心から願つて止みません」とあつた。別に樂曲の解説もあつたがそれによると日本樂壇の權威に對する、あこがれの氣持で日本國土の風物、武士の精神をこの曲で表現し、永年の友誼を音楽の力で表現したものである。

一方イーベル氏は十線紙に歌詞を押したもので一行の解説もないがシュトラウス翁と違だ樂壇に誠にあつさりした贈物ぶりだ、去る五月ハンガリア作曲家サンドール・フェルシュの祝典曲を入れて既に歐洲からの奉祝曲は五部の内三部は完成したわけだがイギリスのベンジヤミン・ブリトン氏の分もイタリアのイルデバランド・イヴ、エチ氏のもこの秋までには届くので十一月末には日本放送交響樂團によつて演奏　大演奏會を開く豫定である

ストコウスキーの大演奏會

八月十日で

過日トスカニーニの來伯で音樂ファンを熱狂させたが、今度レオポルド・ストコウスキー氏が北米の一大オーケストラ團を率いて近く來伯する事に決定した氏はマグヤ指揮者と云はれトスカニーニ氏と並び稱せられる名指揮者でまるが、今度オール・アメリカン・ユース・オーケストラと呼ばれる十八才から二十二才までの男女百余名よりなる樂團を率ゐて來月七日リオ市立劇場で初演奏をやる豫定

ワアツ！聽えるぞ懐しい母國の聲が

"南米向け日本の放送が聽えない"ことは久しい前からの聲だつた、英、大、獨、佛、伯、米、日、本、帝、國、の、放、送、が、聽、こ、え、ま、せ、ん、ま、で、聽、こ、え、ま、せ、ん、ま、で、聞、こ、え、ま、せ、ん、ま、で、聞、こ、え、ま、せ、ん、ま、で、聞

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno . . . 60$000
« Semestre . 30$000
Numero de dia . . . 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. Paulo, — DOMINGO 21 de JULHO de 1940 — DIARIO No. 2237

PAZ OU DESTRUIÇÃO TOTAL - declara Hitler

O FUEHRER FALA PERANTE O REICHSTAG

BERLIM, 19 (Domei) — Urgente — «Não sei se Londres tem noção nitida da luta que agora tem inicio — declarou o «Fuehrer» — Há pouco Churchill ordenou o começo dos ataques aéreos contra a população civil alemã».

Quando Hitler der sua resposta, a mesma será terrivel para milhões de pessoas.

O sr. Churchill poderá estar certo de que será destruido um grande império.

— «Esta guerra não terminará antes que um dos adversarios fique aniquilado».

O «Fuehrer» declarou, de maneira profética:

— Sei que o fim da luta será a destruição da Inglaterra».

O «Fuehrer» a seguir frisou que sua consciencia está limpa e sente-se na obrigação de apelar mais uma vez para a razão dos ingleses. Não existem motivos para a continuação da guerra.

O «Fuehrer» finalmente adiantou que milhões de homens na Alemanha estão ansiosos para entrar na luta final contra a Grã-Bretanha. Ele entra com a conciencia tranquila na luta, caso o seu apelo não seja ouvido.

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

INSTITUTO DE PESQUISAS TECNOLOGICAS

Com o decreto 10.526, de 27 de setembro de 1939, abriu á Secretaria da Agricultura um crédito especial de duzentos contos de reis destinados a estudos e experiencias a serem realizados pelo Instituto de Pesquisas Técnológicas com o carater semi industrial para a utilização de uma patente de invenção obtida para a solubilização do oleo de ricino em derivados do petróleo bem como para que fosse organizado um projeto de instalação e verificada a rentabilidade provável da exploração industrial do método patenteado.

O Instituto de Pesquisas Tecnólogicas havia após vários estudos conseguido novo método de mistura para o qual reivindicou caracteristicas de invenção e que pelo seu valor virá contribuir grandemente para a solução de grandes problemas, não só de carater economico como tambem o industrial.

A usina destinada ao tratamento do óleo de ricino visando a sua utilização como lubrificante, que se encontra magnificamente instalada nos moldes mais perfeitos da tecnica moderna tornou-se pois, uma realidade graças ao interesse que manifestou o Governo do Interventor Adhemar de Barros empregando os seus melhores esforços na realização dessa iniciativa.

DIRETORIA DE ESPORTES

Pelo decreto nº. 9.605, de 12 de outubro de 1938 foi reorganizado o Departamento de Educação Fisica. E a Diretoria de Esportes foi instituida pelo decreto 10.400, de 4 de agosto de 1939. A sua criação justificou-se pelo fato de querer o Governo dar uma orientação racional aos esportes em todas as suas modalidades valorizando a prática da educação fisica. Aliás a politica seguida com esse objetivo em todo o Estado partiu da reorganização do referido Departamento. A êle o Governo possibilitou não só o aumento dos quadros funcionais como a aparelhágem técnica necessária para que as realizações dessa repartição pudesse interessar todas as cidades do interior paulista. Apenas criada a Diretoria de Esportes vem desenvolvendo o brilhantemente a sua tarefa. A orientação esportiva em todas as agremiações, a sua propaganda e vulgarização, o estudo técnico dos diferentes esportes, a organização de provas competições e exibições escoriivas são finalidades postas em prática com sensivel vantagem para a educação fisica em geral.

Do seu programa faz parte integrante a educação fisica nas escolas primárias secundarias e profissionais Penitenciaria do Estado, Escola de Aplicação ao Ar livre Escola Superior de Educação Fisica organização dos Parques Infantis em todo o Estado, Serviço de Colonia de Férias, de Escotismo de Bio-Estatistica Fotografia e Cinematografia e o serviço de Desenhos e Projetos.

Esse interessante e eficiente programa vem sendo fielmente executado pelos diferentes orgãos componentes daquele Departamento.

念腹俳事（四十）

六月號のホトトギス雑詠には吉川耕花君が三句入選して吾等のために氣を吐いて呉れた同君は本紙の現役投句家としては古参株の一人であつて、同じ古参株の万城目金之助君など、共に最早俳句なしでは到底生きてゆけぬといふところまで行きついた、善い意味の本當の俳句好きなのだ。君は際立つて句作に熱中することもしないが、又中絶するといふこともなく、常に心の火の氣を絶さぬといふ風な行き方であると思ふが、此不斷の努力といふ事が最も大切で、それが先づ今回の賞を結んだものであらう

三句とも何れも面白い句だが中にも

住よくて儲からぬ國　夏隣

といふ句は、恵まれた衣食住には感謝しながらも、一面働いても〳〵一向儲かりもせぬことに愚痴をこぼすといふ吾々凡人の自姓の心持が、これから追々暑さに向ふ夏隣といふ季感と結びついて面白い句になつて居ると思ふ。此句が若し「農の秋」といふやうな下五字であつたならば判り易い句とはなつても値値のない平凡なものとなつて了ふ

私には、さとる、秋季等の新しい諸君の天才と現れるのも勿論邦家に嬉しいが、同時に父耕花君の姫き志を継ぐの俳展をみると嬉くて堪らなくなる。

◇

五月の草庵句會にはチエテ勢が驚せ論じて思はぬ盛會となつた事前に書いたが、次の六月の小集には本紙俳句の不用になつた投稿の一部を捲き拾てることをして、五月間の投句家の上にいさゝか恩を返す所があつた

投稿と云つても先々のものは敬遠したものが殆くないのでそれとは別に東ねておつた其の封筒を採つて、新しい紙に綴じ直したものを、篠めて置いた、庭の或一個所の下に積重ねて、句會の諸士の上に積重ねて、句會の諸君と交々に火を放つたのであつた

「自分等にはどうしても殿供養といふ心持だ」

「花鳥諷詠／／」

等と冠絶交りにはしやいだり或は沈々と無心な各地の投句家を相り合つていつまでも其

うみ

出発途上その他　サンパウロ市　清谷水聲

めざめたる心に浮えざえと沁みて見ゆ濱田行く谷の青き瀦の葉

己が道に人らむ命は持ちつゝも一族に浮ひし事はなかりき

思ひ出でゝ今なほ苦したゞ一度たらちねの母にあらがひたりき

雨はれて寒き夕の食卓に野菜の青き味噌汁を啜ふ

こゝにして我が見るものか星軍が胸ちゆく國の民の一群

（安那人を見て）

鬱り得ぬ今となりしを告ぐべきは心に掛くれど未だ書き得ず

（姉の便りを讀みて）

鬱り來れ汝を待ち共に故里を訪はましとふ姉の便りに泣かゆ

妻の死以後　アリアンサ　飯塚末太郎

鬱けうつ注射の反應さらに無し身を切る思ひに我が看病り周り

足は冷え手先冷たくなりぬれどな意識あり覚しき妻は枕邊に子等坐らせて遺言せし

妻は死に臨み少く値も安眠借かへせぬ我が伴話はや喜びもいたづらも常と變りな

し母なき子等と思へば我は新しく妻帯しても子等は如何と思へばひたむきになれず

英佛が朝の露と消ゆるとも吾は珈琲の値出づればよし

輕機をば射手に代りて立射しつ胸打抜かれ畜生と叫べりと

（殺遠にて散亡せし友）

功六級勳七等歩兵曹長を戦後に護國の鬼と祀らる

△

トレスパラス　晶山　充

たゞならぬ辛魁がつづき石路の雑草さへも枯れ伏しにけり

冬季の最中といふに虻の頃は夏におとらぬ暑き日つゞく

黄色蛇のうごめくが姫く龍巻はしば動きて空に消えたり

△

ペルース　雲南生

國法は守るべしと個人主義をカムフラージする人のあるなり

學校の車にはかゝはらぬときほひ言へり此の頃少し儲けし人が

△

パラグワスー　成瀬悲露夢

イペの花梢に僅残りをり冒戸より見ゆる山のくぼみに

イペの木の下に寄りて見上ぐれば梢の花は風にゆれをり

△

橘秀子

七月のあきぎの空のつめたさよはうさん水はほのかにしぶ

あきらめの寂光に再る我影をこの夜ひそかにいとしみにけり

△

グワラペス　上岡悠春

竹むらのしだれし語葉々と月の光に輝き見ゆる

△

パストス　小夜銀星子

小さなる編をふせて馴染まざる隣の子供は泣るともせず

△

池宮城　秀

國々の山河を駆る人はみな遠き故里をしのぶが如し

△

永野青蛾

雨降らぬまゝに萎きたる菱の芽のはや傾しるく伸び出でにけり

△

パラクルース　佐々木生

川べりの枯草原に鳴く鳥の聲寒ざむと夕去りにけり

△

マルチノポリス　金紫朗

しつとりと鎮降りし砂の道我が見過しゝバスこみてをり

△

ポンペイア　唐澤正德

逝く秋の枯野の原に風さむし

詩雑記

良一郎

そろ〳〵下火になりさうな心配に、自分の詩の出来ないのは棚に上げて、何彼と注意してみたいと思ふ

『晴雨鳥』　橘秀子氏作

鳥向のよさが却つて第二節第三節にその破綻を來してゐる、不自然な句調と、いかにもその鳥に注意をひかうとする、あなたの意志が、余りに効きすぎた胡椒である

『犬河のほとり』　葉琴氏作

嘉生詩、七七調　余りに単調

「虫の聲」　幹夫氏作

手紙の返事をついアラクワラ線としたので、着いたかどうかと未だに眼ひわずらつてゐる、どうやら一つの型にはまつた君の詩、今一歩、拘いた、君、詩がみたい既作の愚を繰る勿れ

夜更けて猶に止まず

虫の聲

その聲の聲

我が胸を打つは郷愁

たゞ只に

コロ、コロ、と

虫の聲

その聲の

（編言多謝）

「虫の聲」　葉琴

夜深く黙して

にとらはれて、景色の形調としないのはどうか？　リオ・グランデの流に、一層のこと鎮魂を流して、自由に詩はるかどね

「虫の聲」

色淡き追憶をたどる

ほの〳〵と

背離の中より浮び來る

夕闇の花

硝子窓を開けて——

蚊遣ひの煙は細々と揺れる

又自づとはじけ開く夕顔の花一つ

凝乎と聞入る耳に

庭の隅から

切々と魂を揺するいとゞの響き

あゝ闇の中に

一人故里を懐ふる夜

忘却の中より

ほのぼのと色淡き憶ひ出のつのるとき

瞼はうるみ行きて

あはれ耳朶をうついとどふはれ〳〵

眞實　たけし

大地は

まこと……生きてゐる

汗と血で

回轉しながら——

テーブルの上では

どんな美しい友情が

綻ばれようとも

紙幣の上には何時も

一闇餓か闇つて居る

果しなき生存の

このなやみ……

「はたらく女」の歌

佐伯孝夫

をとめ十九の入社して

明けりやサイレン「キイ」の音

嬉い涙を　ふり捨てた

むねに希望の　鈴が鳴る

◇

更けて淋しい　雨の音

聴くも女の　勤めなら

抱いた悩みも　わけあうて

ともに越えましよ　茨みち

◇

降り鳥暗く　村はづれ

赤い入日が　目にしみり

や想ひ乱れる　黒髪を

つよく束ねて　野良駆ぎ

◇

海に野山に　街かどに

けふも一日　働いて

あなた歌ふは　セレナーデ

わたしや坊やの　子守唄

時報俳壇

念腹選

冬季雑　佐藤倫子

洗濯もするといふ猛口同ぼこ
星凍てる夜も語らひに濡てる

大鍋の乳沸いて來し　冬竈
灯の下にかたまりて繕や毛糸編む

石川芳園

いくさなき野に満蒙の結れつくす
厨窓手が出て千葉はづすなり

都上や一

熱燗に憂せきたてゝもてなし
酒に酔ぬ

念腹

サボテンの針はさゝりし落葉あり　山口一枝

斧音の止めば鳴啼く小春かな
野鳳をとりに猫ゆく小春かな

林銀河

移民悲話あり艶話あり孤骨忌
一點の遺産貴し　孤骨忌

間崎恵

此處に父神父交へし　道茨火
窓かけの色のもえ出し枯木立

鈴木抱春

公園の椰子の根元の　樂園
夜逃する移民の布團買ひにけり

石井黒雀

ほゝ笑の顔伏せしまゝ毛糸編む

伏見春曉

立ちよる娘の鄰したる毛糸玉

久保伯樹

日展の買ふて戻りし毛布かな

中野陽水

引きあげてカノアにあまる大竹貨

高橋果亭

林相に惚れて焚火し一服し

岡田仙夜

此國の見納めとやゆ電踏む

池邊春鹿

汐待ちて蓮荷の上に日向ぼこ

乙村政雄

氷山に蔦る夢さめ布團巻つ

恩尾雪歩

冬ぬくゝ野良の日展意けをる

増田昌子

鳳那の子におとぎ話のとぎれつゝ　佐藤潔子

朝土樹に枝のべかざし大冬樹

白石秋峯

野路をゆく異人に交りちやん〳〵こ

三好さとる

寒夜わが精神よりぬ乗の穂に

林貞逸

給腹へ夕貨車が着き　日短か

荒堀初穂

霧に消ぬ江に洪出でぬ狩の犬

佐藤桃生

追ふ牛の散ばり込みし冬木立

岩上五重

ベランダに柵の影おける今朝の冬

念腹

木雫の戸を編出るや　朝焚火
一年の半ばの日なり　圭石忌

前月分補遺

中野陽水

枝豆に日遮しとして　集ひけり
われは月をニグロは燃を御子

荒堀初穂

に尊し
働けば　働き甲斐や　濁り酒
止まらんとしたる小鳥も群を
追ふ
手造りの荷車重し　鞭を曳く

冬暖か　十句まで
冬、春季雑　同

以上締切八月十日

讀め時報!!

馬鹿がせつゝ家路をたどる

△　阿羅太生

老いてなほ鬱とりませる父上が飯食ひ時を忘れ給へり

△　西原岳南

故郷に黄金出づるときゝにしが慢の大銀杏の立てるあたりか

◆

○清谷氏＝一寸標準を下ければ大部分採れるのだが、力量に欠けて、すきの見えるものはオミットした、出発當初の事故無理もないが、君の作品としてはさして秀れた方ではなからう。力作を俟つ

○飯塚氏＝手法から言へば、可成り難あるが、深い感動のこもつた作品である、作歌の方向はこれでよいが、保留の分に感動が熟つてまとまりの無いものが多かつた、折角精進を希ふ

○晶山氏＝どうも安易だもつと心の燃焼を待つて作歌され度い「ゆきかひの」「なにびとの」だけ今一歩と言ふところ

○雲南生氏＝今の行き方ではやがて行詰まりが來ると思ふ。寫生に力を注ぐことを勧める

○橘氏＝掲載の分のやうな氣どつた行き方は賞成し兼る　むしろ保留した「ある日合」出来得れば本紙に立寄つて戴き度い

ふが、音韻響不足のものばかりであつた

○濱友生氏＝君の力量から推して、どうにも今回の分は採れなかつた。一段の努力を希望する（妄言多謝）

◆

回を重ね投稿歌數が次第に増しつゝあることは喜ばしい。御一層歌壇と投稿者との連絡を強める爲に左のことに就きお願ひする

◇紙上所名は非支ないが、なるべく歌稿には住所本名を記して頂き度い

◇地方投稿者で出掌された撒合出来得れば本紙に立寄つて戴き度い

◇

◇

◇拙にふれ側への清風をも知らせて藏き度い

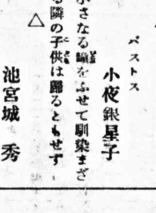
◇

今回は岩波先生の作品を頂くことが出来たことは、よろこばしい限りである、祖國一薄短歌群誌アラクワラの華同人として活躍して居られる先生がこの歌壇に姿を見せられることは　我々修業者愛好者一同にとつて、何よりもよい刺戟となり、嬉みともなることい限ふ。これを契機として、各地に撒る在住歌人が、振つて投稿されむことを願つてやまない。（武本生）

◇

◇

詩



▲押切　型四五　小型三五　計　野菜用　除草機　巾一七センチ　十ミル　中耕　攪拌機　巾一〇センチ　十ミル　野菜用　中耕機　八ミル

野菜作に必要な農具

エンシャーダ　カマ、フアコ用

金剛砥

荒砥　一個四、〇〇〇
中砥　同　三、五〇〇
仕上砥　同　三、〇〇〇

時報商事部

地方取次所　リンス、マリリア、プ・プルデンテ時報支社

ARTHUR VIANNA & CIA. LTDA.
Rua Florencio de Abreu 491 (antigo 77) — S. PAULO
— Caixa Postal, 3520 — Telephones 2-7161, 2-7162 e 2-7163 —

經濟肥料と智利硝石加里には

一噸當り15キロの窒素成分と160キロの加里成分があります。
之を肥料から計算すれば
窒素成分　150キロ……667$500
加里成分　160キロ……532$800
1:200$300
智利硝石加里は同量の成分があつて……910$600
實に一割一歩が農家の利益となり400キロ過燐酸が買へますから配合肥料場合驚く程經濟的です
290$300

◆肥料購入の方　特別の便宜を計ります
◆施肥其他の農業に就いての質問は弊商會内
牛野貫殿宛にお願ひ致します　パンフレット各種無料配布
アルツール・ヴイアンナ商會
聖市フロレンシオ・デ・アブレウ街四九一（舊七七）
電話二二七一〇一　郵函三五二〇

A CASA CONFIANÇA
RUA LIBERDADE 66 TEL. 2-4652

奥様

斬新優良の純毛製冬向婦人用外套
着物が多量到着致しました
毛布、フランネルを豊富に取揃へ
又絹織物　靴下、寝臺掛、本綿物
一般にわたり勉強して居ります
特に日本人酋様の御來店をお待ち致して居ります
カーザ・コンフイアンサ
ルア・リベイロ・ダ・ベ六六番
電話二一四六五二

この画眼こそ
充分な保護を
します

たてのあちこち生
鋭い神経に
眼を痛めるまま。
一滴毎のラヴォリオは爽快味
を與へて鮮明な瞳となります

LAVOLHO
CONFORTA OS OLHOS

印刷は時報へ